

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和2年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立相模湖ふれあいパーク
指定管理者名	公益社団法人 相模原市シルバー人材センター
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立相模湖ふれあいパーク条例
施設の設置目的	市民及び相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、市民と相模湖を訪れる者の交流及び憩いの場を提供するため
施設概要	相模原市緑区与瀬1183番地2 駐車場(自動車駐車場14台、月単位自動車駐車場7台) 駐輪場(月単位オートバイ26台、月単位自転車16台) 公園、公衆便所等 自動車駐車場開所時間(午前8時～午後8時、1月1日～1月3日まで休所)
施設所管課	緑区役所区政策課

2 管理実績

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計(人)	14,367	13,916	13,674	13,055	12,652	10,818	—
利用料金合計(円)	4,323,579	3,835,741	4,108,414	3,855,016	3,543,491	2,778,377	—
回転率	2.73	2.65	2.61	2.49	2.40	2.06	—

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
D	回転率2.7の成果指標を達成した平成28年度以降、利用者数の減少傾向と同様に実績値が減少していき、回転率2.7の目標を達成できていない。特に令和2年度はコロナ禍による外出自粛が影響し、回転率が大幅に減少した。 本施設は、通勤・通学者の駐車場・駐輪場としての役割があることから、コロナ禍の中でも休場・閉鎖を行わなかったが、今後、コロナ禍を考慮した目標値を設定しても良いと考える。 適正な目標値を設定した上で、指定管理者は、利用者数増加の取組を実施し、成果指標の達成を目指して欲しい。 【評価基準は、当該年度の達成度が80%未満のため、D評価】

指標	
指標名(単位)	回転率(台)
指標式と指標の説明	年間延べ利用台数÷(収容台数×営業日数)

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(台)	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
実績値(台)	2.7	2.7	2.6	2.5	2.4	2.1	—
達成度(%)	100.0%	100.0%	96.3%	92.6%	88.9%	77.8%	—

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>コロナ禍の緊急事態宣言が発出されるまでの間、さがみ湖やまなみイルミネーション事業に参画し、相模湖駅周辺の活性化に寄与するとともに、本施設の憩いの場としての側面をアピールした。</p> <p>また、事業の記載はないが、来園者から評価されている一年草の植え付けや植木の手入れを本年度も行い、市民や相模湖を訪れる者を季節の花で出迎え目を楽しませるなど、来園者の交流及び憩いの場を提供すること貢献している。</p> <p>【評価基準は、基礎シート1記載の達成度が100%以上125%未満のため、A評価】</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
相模湖やまなみイルミネーション	12月～1月	冬季の相模湖の誘客を促し、地域の活性化を図るため、12月1日から翌年1月7日(緊急事態宣言発出による)まで実施した。	○

【参考掲載】

さがみこ湖上祭時一時利用駐車場時間延長事業	8月	新型コロナウイルス感染症拡大により、さがみこ湖上祭が中止になったため、実施できなかった。	/
刃物研ぎ	3月	年度末に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった。	/

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>平成9年4月開設の施設で老朽化が進んでいるものの、公園利用者から「綺麗」との声を多く頂いたのは、清掃業務について新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、衛生状態をより良好に保持したことが要因と考えられ、評価できる。一方、利用料金については、現状を可とする意見や安価を望む意見等があり、検討の余地がある。また、駐車場精算機のゲートについては、施設関連のため指定管理者だけでは対応できないと思われるが、市と一緒に対応を考慮していただきたい。</p> <p>【評価基準は、下記記載の達成度が100%以上110%未満のため、A評価】</p>

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和3年3月8日から4月7日まで サンプル数:89名
目標値の基準	利用者の総合的な満足度の設問に対する「非常に満足」と「満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	/	/	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値 (%)	/	/	96.4	81.1	89.0	95.5	—
達成度 (%)	/	/	107.1%	90.1%	98.9%	106.1%	—

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱	通年	駐車場の入口の壁に意見・要望用の意見箱を設置している。(公園の電灯が点灯していない、駐車場精算機のゲートの読み取り不良の意見があった。)

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>施設の収支状況は全体収支がマイナスとなっているが、指定管理者団体本体の経営状況に特段の問題はないことから、B評価となった。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍による外出自粛が影響し、利用者数の減少傾向に拍車がかかった形となった。しかし、利用者から好意的な声が聞かれるなど、施設の社会的役割はあると考えられることから、利用時間の拡大、料金設定の変更など検討を行い、利用者の増加を目指し、施設運営の健全化に取り組んでいただきたい。</p> <p>【評価基準は、基礎シート3の団体本体の経営状況が「特段の課題はない。」10点のため、B評価】</p>

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)	7,765,016	7,562,755	6,852,955
指定管理料	3,910,000	3,986,480	4,062,962
利用料金収入	3,855,016	3,543,491	2,778,377
その他の収入	0	32,784	11,616
支出 (b)	7,934,345	8,065,257	8,533,487
人件費	5,262,447	5,489,499	5,672,413
本社管理経費	0	0	0
その他の支出	2,671,898	2,575,758	2,861,074
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-169,329	-502,502	-1,680,532
自主事業収入 (d)	0	0	0
自主事業支出 (e)	0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	-169,329	-502,502	-1,680,532
備考			

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和3年3月22日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

コロナ禍による外出自粛等により、利用料金収入は大幅な減額となりました。それに伴い回転率も目標値を大きく下回る結果となりました。収支については約160万円もの赤字決算となりましたが、地域の状況に加えてコロナ禍による影響を大きく受けた結果のため、指定管理者として状況を打破することは困難であったと考えています。

そうした中、地域との連携をとり、当年度もやまなみイルミネーションに参加しました。また、利用者の満足度については、過去2年度は目標値を達成しませんでした。令和2年度は達成することができ、管理状況は良好にできていると思われれます。

9 所管課意見

令和2年度は、コロナ禍により、日本社会は大きな影響、経済的ダメージを受けた。本施設も同様にコロナ禍による外出自粛が影響し、利用者数の減少傾向に拍車がかかり、成果指標である回転率の大幅な減少及び利用料金収入の大幅な減額など大きなダメージを受けた。

しかし、施設管理において、施設の老朽化が進んでいる中、利用者の95%が満足している状況は、指定管理者のコロナ禍を踏まえた丁寧な清掃や季節の花の植栽などによるおもてなし、接客等の日常業務の賜物と考えられ、適切な施設管理の状況、努力が窺える。

今後は、コロナ禍で不透明な状況が続くが、「利用時間の拡大」、「料金設定の変更」など検討を行い、利用率の向上を念頭に、利用者数及び利用料金収入の安定化を図り、施設運営の健全化に取り組んでいただきたい。

また、施設の老朽化に対する修繕費については、市で検討しているものの、財政状況を鑑みると引き続き厳しい側面があることから、実施可能な事項の検討を一緒にいき、創意工夫を図ってほしい。

10 選考委員会意見

・満足度調査においてクロス集計を行うため、利用目的別の平均利用頻度、平均利用金額(平均利用時間)の質問や一時利用、定期利用、回数券利用の利用種類の質問を行った上で、満足度、意見を聴取し、利用促進策を検討してほしい。また、満足度調査の回答数が増加する取り組みも検討してほしい。

・本施設は通勤・通学者の利用に資する目的があることから、コロナ禍においても休業せずに営業した結果、本年度の成果指標の達成度はD評価となったが、次年度においては、成果指標の達成度については、通勤・通学者の利用とその他の利用を区分し、その他の利用については、外出自粛率なども考慮した上での目標値の設定を検討してほしい。

・駐車場利用者の来訪者データを取得、蓄積の上、当施設の利用促進対策に役立ててほしい。

・コロナ禍での外出自粛による利用台数の減少に伴う利用料金の減少は、施設の管理運営上、大きな影響が出ると考えられることから、健全な施設の管理運営ができるよう、今後は施設運営に係る業務の見直しや変更等の検討が必要であるとする。

総合評価 (自動判定)

B

(55/100)

